

# ～山梨県立美術館のあゆみ～

Part 2：開館後の出来事

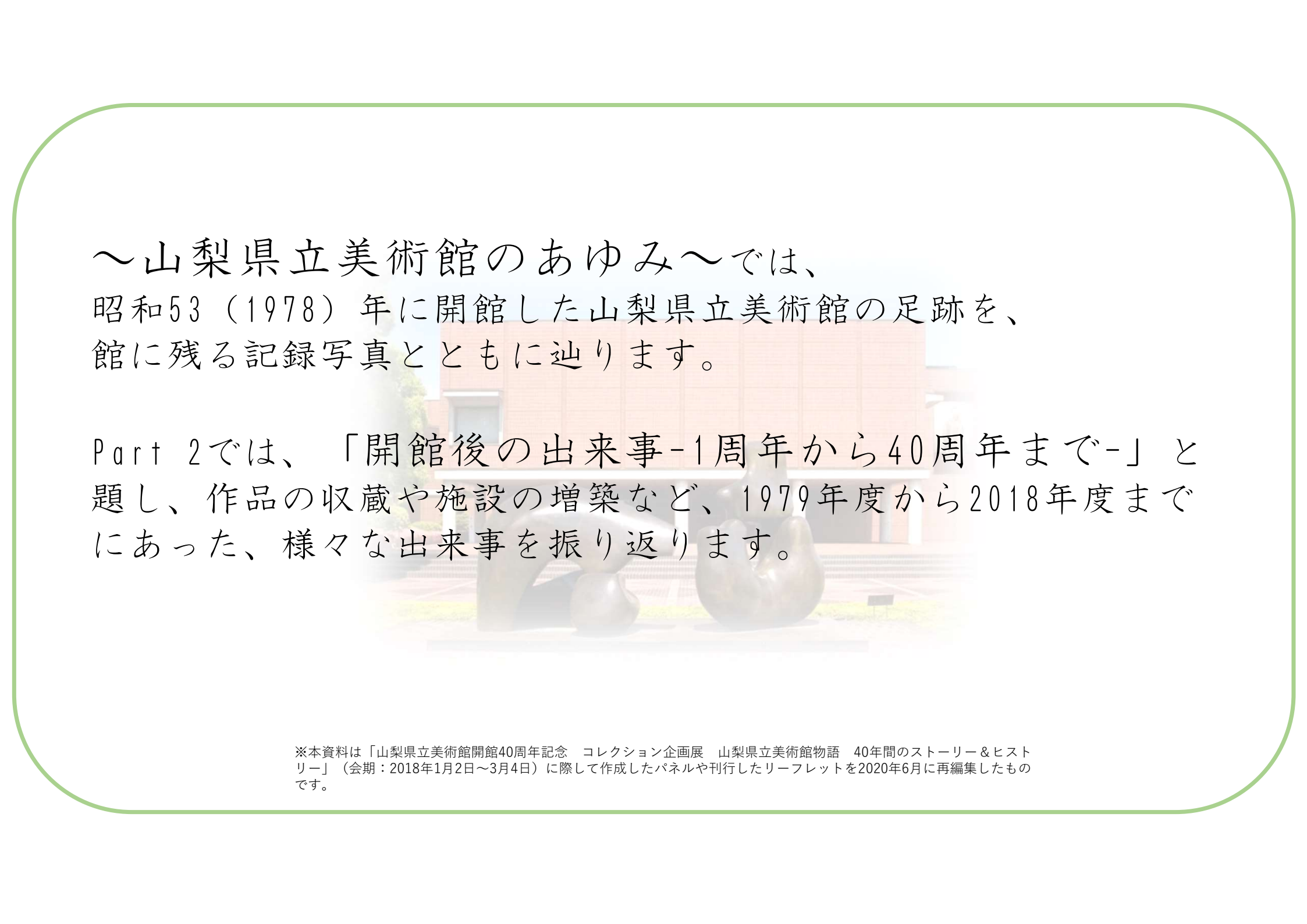
-1周年から40周年まで-



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art



～山梨県立美術館のあゆみ～では、  
昭和53（1978）年に開館した山梨県立美術館の足跡を、  
館に残る記録写真とともに辿ります。

Part 2では、「開館後の出来事-1周年から40周年まで-」と  
題し、作品の収蔵や施設の増築など、1979年度から2018年度まで  
にあった、様々な出来事を振り返ります。

※本資料は「山梨県立美術館開館40周年記念 コレクション企画展 山梨県立美術館物語 40年間のストーリー&ストーリー」（会期：2018年1月2日～3月4日）に際して作成したパネルや刊行したリーフレットを2020年6月に再編集したものです。

# 昭和54（1979）年度

開館1周年

作品新収蔵

ジャン＝フランソワ・ミレーの油彩画  
《ポーリーヌ・V・オノの肖像》、  
《ダフニスとクロエ》、  
《冬（凍えたキューピッド）》  
を収蔵しました。



新収蔵の3点を展示した常設展示室

昭和56（1981）年度

作品新収蔵

ミレーのパステル画  
《ヴォージュ山中の牧場風景》を  
収蔵しました。



初公開に向けての展示作業

# 昭和58（1983）年度

開館5周年

作品新収蔵

アントワーヌ・ブールデルの  
ブロンズ彫刻《ケンタウロス》を  
収蔵しました。

当初はエントランス・ロビーに設置  
しましたが、後に芸樹の森公園に移  
設しました。



エントランス・ロビーでの設置作業



## 昭和60（1985）年度

### 展覧会関係

特別展「ミレー展 Boston美術館蔵」会期中、日米の専門家を招いてのシンポジウムを開催しました。



展示室内で開催したシンポジウムの様子。

## 平成元（1989）年度

### 施設関係

美術館の向かいに山梨県立文学館が開館、芸術の森公園が開園しました。

以降、公園内に彫刻や立体作品を設置するようになります。



開館・開園当初の山梨県立文学館および芸術の森公園の様子

# 平成5（1993）年度

開館15周年

アンリ・シャピュのブロンズレリーフ  
《ミレーとルソーの記念碑》を芸術の  
森公園内の「バルビゾンの庭」に設置  
しました。

作品新収蔵



除幕式の様子



## 平成7（1995）年度

### 作品新収蔵

ミレーの油彩画《落ち穂拾い、夏》を収蔵しました。



お披露目式の様子

# 平成10（1998）年度

開館20周年

増え続ける収蔵作品を安全に管理するため、収蔵庫を新しく増築しました。

施設関係



竣工披露の様子

平成11・12（1999・2000）年度

作品新収蔵

甲府市出身の版画家、萩原英雄の  
コレクション（蒐集品及び本人作品）  
の寄贈受け入れを行いました。

本コレクションは現在、萩原英雄記  
念室で展示しています。



故萩原英雄氏の自宅での調査の様子。



## 平成16（2004）年度

### 施設関係

南館の新展示室（現在の特別展示室と萩原英雄記念室）が開室しました。

展示室には現代美術の展示にも対応できる、天井の高い三角形の部屋を設けました。



竣工披露の様子



# 平成20（2008）年度

開館30周年

施設関係

作品新収蔵

「ミレー館」をリニューアルオープンし、ミレーやバルビゾン派の作品展示を一新しました。

新収蔵のミレーの油彩画《眠れるお針子》もこの時に公開しました。



オープニング式典の様子

# 平成30（2018）年度

開館40周年

作品新収蔵

ミレーの油彩画《角笛を吹く牛飼い》  
を収蔵しました。



お披露目式の様子